

各 位

会 社 名 長 瀬 産 業 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 朝 倉 研 二
 (コード番号 8012 東証第1部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 本 部 長 清 水 義 久
 (TEL 03-3665-3103)

通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月9日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2021年8月4日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想および配当予想を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 130,000	百万円 30,000	百万円 31,000	百万円 22,500	円 銭 185.05
今回修正予想(B)	138,000	35,000	36,500	25,000	205.73
増減額(B-A)	8,000	5,000	5,500	2,500	
増減率(%)	6.2%	16.7%	17.7%	11.1%	
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	114,600	21,916	22,854	18,829	151.91

(2) 修正の理由

2022年3月期第3四半期連結累計期間においては、地域によって濃淡はあるものの、日本を含めた各国における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及等により、経済活動の持ち直しの動きがみられました。その中で、前回発表予想以上に自動車関連ビジネスが復調し、また市況の高騰により樹脂ビジネスの収益性が改善しました。さらに生活スタイルの変化によるデジタル機器の需要増加等を背景にモバイル機器、ディスプレイおよび半導体を中心としたエレクトロニクス関連ビジネスの好調が維持され、前回発表予想を上回る水準で推移しております。

第4四半期連結会計期間においては、樹脂ビジネスの収益性の低下が予想され、また業績好調を受けた一般管理費の増加等を見込んでおりますが、事業全般としては引き続き堅調に推移し一定水準の利益が見込まれることから、通期連結業績予想を上方修正することといたしました。

結果として、各利益ともに過去最高を更新する見通しであります。

なお、想定為替レートは、1米ドル=109.5円から111.9円へ、1中国元=16.9円から17.4円へ、それぞれ変更しております。

各セグメントの通期連結業績予想は下記のとおりです。

		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)
機能素材	売上総利益	百万円 17,700	百万円 19,500	百万円 1,800	10.2%	百万円 15,562
	営業利益	6,600	7,800	1,200	18.2%	4,712
加工材料	売上総利益	29,500	31,900	2,400	8.1%	26,816
	営業利益	9,600	10,800	1,200	12.5%	7,311
電子・ エネルギー	売上総利益	27,400	29,800	2,400	8.8%	25,581
	営業利益	8,800	10,000	1,200	13.6%	8,408
モビリティ	売上総利益	11,200	12,400	1,200	10.7%	8,983
	営業利益	3,400	4,100	700	20.6%	1,851
生活関連	売上総利益	43,700	43,900	200	0.5%	37,471
	営業利益	9,300	9,300	—	—	6,512
その他・全社	売上総利益	500	500	—	—	184
	営業利益	△7,700	△7,000	700	—	△6,879

(注) 当期より事業セグメントの区分方法を変更しており、前期実績については、当該変更を反映した組替後の数値を記載しております。

2. 配当予想の修正について

(1) 当期の配当予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		24円00銭	48円00銭
今回修正予想		30円00銭 (普通配当 24円00銭) (特別配当 6円00銭)	54円00銭 (普通配当 48円00銭) (特別配当 6円00銭)
当期実績	24円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	22円00銭	24円00銭	46円00銭

(2) 修正の理由

当社の剰余金の配当に関しましては、収益力の向上と企業体質の充実強化を図りながら、連結業績および財務構造を勘案した継続的な増配を基本とし、連結キャッシュ・フローや投資状況を踏まえ実施することとしております。

上記基本方針のもと、今期は年間2円増配を予定しておりましたが、上記のとおり各利益ともに過去最高を更新する見込みとなり、財務状態なども踏まえ検討した結果、2022年3月期の期末配当予想を、従来予定しておりました普通配当24円に特別配当6円を加え、1株当たり30円に修正することといたしました。

これにより、中間配当金を含めた2022年3月期の年間配当金は1株当たり54円となる予定です。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、予想とは異なる可能性があります。

以 上